

【概要】石岡市八郷総合支所等個別施設計画

■基本的な考え方

- ・八郷総合支所は**存続**，出張所は引き続き**検討**を行う。
～白書及び総合管理計画では～
利用者1人当たりのコストと，劣化の状況との2軸評価から八郷総合支所は「現状維持」，出張所2施設は「統配合・機能移転の検討候補」を行う。
- ・施設総量（延床面積）の変動なし。
- ・老朽化対策を行い，バリアフリー化を検討していく。

1. 対象施設

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合・ 併設施設	備考
					公民館	
1 市役所（平成31年1月供用開始予定）	石岡一丁目1番地1					
2 八郷総合支所	柿岡5680番地1	8,100.63	平成6	SRC造		
3 恋瀬出張所	小見827番地1	23.41	昭和57	S造	●	
4 園部出張所	真家1921番地	21.00	昭和57	S造	●	
合計		8,145.04				

2. 計画期間

2020年度から2029年度までの10年間。

3. 対策の優先順位の考え方

優先順位①利用者の安全安心を確保するため，施設の劣化等に対する施設修繕を行う。
優先順位②環境対応やいっそうのバリアフリー化について対応する。

4. 個別施設の状態等

安全性：3施設のいずれも**耐震安全性は確保されている**。
出張所2施設は公民館との複合施設。いずれも築30年超で老朽化の進行が懸念される。
八郷総合支所は築20年超で，老朽化対策の検討が必要となる。

5. 対策内容と実施時期 下記工程表のとおり。（出張所は公民館の計画に準ずる）

	業務内容	2019	2020	2021	2020	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
長寿命化	躯体健全性調査									○		
	長寿命化改修 実施設計										○	
	長寿命化改修工事											○
	* 躯体健全性調査は平成39年度，長寿命化改修実施設計は平成40年度，長寿命化改修工事は平成41年度。											
施設 改修	基本的に，長寿命化改修工事とあわせて実施。ただし，施設の状況を把握するなかで，急を要する場合は，長寿命化改修工事を考慮して効率的に行う。											

6. 対策費用

更新単価（行政系施設＝250千円）×施設面積（8,100.63㎡） ≒ **2,025,158千円**

※「石岡市公共施設白書」のコスト試算で用いた地域総合整備財団の更新費用試算ソフトの共通試算条件の更新単価（大規模改修費用の単価）及び計算式（下記参照）を使用した10年間の更新費用。ただし，健全化調査や設計費用等は含まない。

7. 今後の対応方針

- ・支所の空きスペースの有効活用を行う。
（図書館，農村高齢者センター，けやきの家，農村資料館を**複合化**）
- ・出張所については民間との連携も含め検討していく。